

☆はじめに☆

夏本番！日差しがキラキラと輝く季節となりました。毎日セミの大合唱です。太陽の下、子どもたちの遊びもパワー全開。毎日プールや水遊びを元気いっぱい楽しんでます。大人も子どもも疲れやすいこの時期で、特にご高齢の方の熱中症が増えているようです。皆さま休息を十分取って、早寝早起きを心がけましょう。

☆楽しかった音楽会☆

7月25日の音楽会には多数の皆さまにお越しいただきありがとうございました。子どもたちそれぞれ自分の中にさまざまな感情を併せ持ちながら練習も含め一生懸命取り組んでくれました。子どもたち、ありがとう。またひとまわり成長してくれたと確信しています。園長が述べていましたが、新年度に入り4か月目のいわゆる「導入時」での開催です。年長、年中はじめクラスそれぞれの役割や、楽器に触れる、整列して演じる等の目標を持ち、楽しんで行うことを念頭に開催しました。中には初めてステージに立つ子どももいましたが、一年の成長を実感していただけたと思っています。ご観覧ありがとうございました。今度は運動会で子どもたちらしい姿をご披露します、どうぞお楽しみに・・・

☆原弘毅です☆

このたび、縁あって小さな足あと保育園の副園長を拝命しました原弘毅と申します。子どもたちと一緒に楽しみながら保育環境の更なる向上に役立てるよう努力します。福岡出身で趣味は旅行とスポーツ観戦です。現在41都道府県への旅行を制覇しています。一週間前に家族で引っ越しを済ませ、晴れて横浜市民にもなりました。早く皆さんの仲間になれますよう頑張ってます。見かけられましたらお気軽にお声掛け下さい。

☆毎朝の健康観察を☆

毎朝子どものお顔を観察し、少しでも変化があれば必ず教えてください。例：せき、鼻水、湿疹、目の充血、熱、顔色、機嫌、子どものことは「だるい」「しんどい」「痛い」など。園でも注視してまいります。些細なことでもお知らせください。

FootMarkLetter



☆熱性けいれんについて☆

熱性けいれんはひきつけ、身体硬直、意識喪失と大変な症状です。原因は乳幼児の未発達な脳では発熱で神経が異常に興奮した場合に起こるといわれているようですが、詳しくは未解明のようです。体温の上がり始めのころに起こりやすいとも言われています。あわてずに対処しましょう。

【熱性けいれんが起こった場合は】

- ・吐いたものが気道に入らないように顔を横向きにして寝かせる。
 - ・冷静に様子を見て、けいれんの時間（始まり、終わり）と症状を確認する。
 - ・数分で収まれば救急受診は必要ないが、発熱の治療のために小児科の訪問を
- 【こんな場合は早期に受診を】
- ・けいれんが長く続く、あるいは1回の発作は短くても、意識が戻らないうちに次のけいれんを繰り返す場合
 - ・発作が収まったあとも数十分経っても意識が回復してこない、意味不明の言動をする場合
- 落ち着いた対応を心がけ、「119」の前に「#8000」の救急電話相談（医師や看護師が受診の是非、対処法を回答）機関を利用しましょう。

☆暑い夏を元気に過ごそう☆

★こまめな水分補給を

脱水症や熱中症にならないよう気をつけ、十分水分をとりましょう。園でも朝からお茶を用意しています。

★冷えすぎに注意を

エアコン無しでは暮らせないほどの暑さですが、温度調整し、冷えすぎないように注意しましょう。

★規則正しい生活を

「早寝早起き朝ごはん」よく耳にします。生活は夜型化していますが、「早く起きる」ことから習慣づけを。この季節は特に朝の涼しいうちに活動し、暑い昼間に休息するなどして、健康に過ごしましょう。

★栄養を十分に

食欲も落ちるこの季節で、あっさりしたものについて手が伸びてしまいがちですが、スタミナの付くものもしっかりとりましょう。雰囲気を変えて食事をパーティー風にアレンジして楽しむのもいいですね。

★感染症に注意を

ヘルパンギーナ、プール熱、はやり目、水いぼ、とびひ等があります。早めに治療しましょう。

行事予定

- 7（金）～8（土）お泊り会（ミント）
- 10（月）身体計測（3～5オクラス）
- 11（火）身体計測（0～2オクラス）
- 20（木）避難訓練
- 28（金）誕生会

☆職員研修☆

- 3（月）子どもリハビリ（原口）
- 3（月）児童虐待防止会議（中村）
- 6（木）子ども遊びフォーラム（長尾）
- 17（月）絵本読み語り（全職員）
- 27（木）二歳児発達過程、理念（木村）
- 28（金）一歳児発達過程、理念（古賀）
- 29（土）脳科学発達基礎（中村）

